

2015 年度学会彙報

1. 総務報告

出席者 23 名 (委任状 17 名) 定足数を越え、総会が成立した。

- ・総務報告 (会員異動状況) が報告された。
- ・2014 年度決算報告、事業報告が承認された。
- ・2015 年度予算案、事業計画案が審議され、承認された。

2. 第 7 回大会報告

日時: 2015 年 8 月 8 日 (土) 13:00~17:30

場所: 筑波大学 人文社会学系棟 A101 会議室

参加者: 30 名

プログラム:

- | | |
|-------------|--|
| 13:00~13:05 | 会長あいさつ |
| 13:10~14:10 | ワークショップ「形態素処理における理論研究と自称関連電位による実験のインタラクション」福盛貴弘、田川拓海、石田尊 |
| 14:20~15:05 | 岡田あずさ「英語学習者の感嘆文イントネーションの知覚と産出に関する考察」 |
| 15:15~16:00 | 丸島歩「韓国人日本語学習者音声の時間的特徴とその速度感」 |
| 16:10~16:55 | 桐越舞「短歌の言語リズムの諸特徴」 |
| 17:10~17:30 | 会員総会 |
| 18:30~ | 懇親会 |

3. 理事会報告

第 1 回理事会報告

出席者: 城生会長、池田理事、三浦理事、島田理事、委任状: 福盛監事

日時: 2015 年 7 月 18 日 (土) 15:00~17:0

場所: 筑波大学 文科系修士棟 A409 号室

- ・第 8 回大会について審議した。
- ・2014 年度決算について審議した。
- ・2015 年度予算案について審議した。
- ・2015 年度事業計画および総会について審議した。
- ・会員の異動、会計監査報告が行なわれた。
- ・編集委員会からの報告が行なわれた。

第 2 回理事会報告

出席者: 城生会長、池田理事、島田理事、高村理事、福盛監事、永井監事、委任状 1

日時: 2016 年 3 月 18 日 (土) 16:30~17:30

場所: 大東文化会館 K-401 教室

- ・第8回大会について審議した。
- ・役員改選について審議した。
- ・顧問について審議した。
- ・当日までの会員の異動が報告された。
- ・当日までの会計が報告された。
- ・編集委員会からの報告が行なわれた。

4. 編集委員会報告 (編集委員長：島田武)

『実験音声学・言語学研究』第8号に関して、論文1編採択、掲載されることが報告された。

* 第10回大会

2016年9月に室蘭工業大学での開催を予定しております。

* 会費納入のお願い

正会員の方は、年度内に年会費2,000円を下記の口座に納入してください。

ゆうちょ銀行

口座番号 00120-9-262862

口座名義 日本実験言語学会

<他銀行から振り込まれる方>

銀行名：ゆうちょ銀行

支店名：〇一九 (ゼロイチキュウ) 店

支店番号：019

口座番号：当座 0262862

役員名簿

会 長 城生 佰太郎

副会長 池田 潤 (事務局、会計)

理 事 三浦 弘 (広報)

理 事 島田 武 (編集)

理 事 高村 めぐみ

監 事 福盛 貴弘
監 事 永井 正勝

日本実験言語学会 総会資料

日時：2015年8月8日(土) 17:10～17:30
 場所：筑波大学人文社会学系棟 A101 会議室

1. 総務報告

会員異動状況

会員の種別	会員数		増減数
	2013年度末 2014年3月31日	2014年度末 2015年3月31日現在	
正会員 (うち学生)	62 (19)	60 (19)	▲2 (0)
賛助会員	3	3	0
合計	65	63	▲2

2. 2014年度事業報告

(1)第7回大会

日時：2014年8月2日(土) 13:00～16:45

場所：専修大学サテライトキャンパス スタジオ A

参加者：26名

プログラム：

13:00～13:05 会長あいさつ

13:05～13:10 会場校あいさつ

13:15～14:45 ワークショップ「文字類型に対する ERP 研究の展望」

15:05～15:50 高村めぐみ「談話形態とポーズの特徴」

16:00～16:45 三浦弘「スコットランド英語母音の持続時間：音響ダイアグラムによる音韻法則のアプローチ」

16:55～17:25 会員総会

18:00～ 懇親会

(2)学会誌の刊行

『実験音声学・言語学研究』(英文名: Research in Experimental Phonetics and Linguistics) 第7号 2014年3月26日

寄稿論文1点、論文1点、研究ノート2点

(3)役員会

第1回理事会

出席者：城生佰太郎、池田潤、三浦弘、島田武、高村めぐみ(委任状2名)

日時：2014年6月14日(土) 15:30～17:30

場所：専修大学サテライトキャンパス スタジオ B

- ・第7回大会について審議した。
- ・2013年度決算について審議した。
- ・2014年度予算案について審議した。
- ・2014年度事業計画および総会について審議した。
- ・会員の異動、会計監査報告が行なわれた。
- ・編集委員会からの報告が行なわれた。

第2回理事会

出席者：城生佰太郎、池田潤、島田武、高村めぐみ、福盛貴弘（委任状3名）

日時：2015年3月14日 16:00～17:00

場所：大東文化会館 K-302 教室

- ・第8回大会について審議した。
- ・当日までの会員の異動が報告された。
- ・当日までの会計が報告された。
- ・編集委員会からの報告が行なわれた。

編集委員会

出席者：島田武（委員長）、乾秀行、菅井康祐、宇都木昭

日時：適宜

場所：メール会議

- ・第7回大会に関して、匿名査読（2名）の結果、発表3件が採択された。

出席者：島田武（委員長）、乾秀行、菅井康祐、宇都木昭

日時：適宜

場所：メール会議

- ・REPL7号に関して、寄稿論文1件、論文1件、研究ノート2件の応募があり、匿名査読（2名）の結果、採択された。

(4)その他

JELS 通信 No.22～25 を会員に送信した。

3. 2014 年度決算報告

	項目	金額	備考
収入	前年度繰越金	85,994	
	正会員会費	88,000	(正会員 44 名分)
	賛助会員会費	0	
	入会金	3,000	
	大会参加費等	0	
	計	176,994	

	項目	金額	備考
支出	大会運営費	2,710	(茶菓など)
	広告費	17,097	(ポスター作成、レンタルサーバーなど)
	郵送費	22,955	(ポスター発送、学会備品郵送)
	人件費	26,000	(バイト代)
	消耗品費	3,012	
	印刷費	0	
	予備費	0	
	繰越金	105,220	2015 年度へ繰り越し
		計	176,994

4. 監査報告

5. 2015 年度事業計画

(1)第 8 回大会開催

日時：2015 年 8 月 8 日 (土) 13:00～17:30

場所：筑波大学人文社会学系棟 A101 会議室

口頭発表 3 件、ワークショップ 1 件

(2)学会誌の刊行

- ・『実験音声学・言語学研究』第 8 号を刊行する。
- ・原稿締め切り 9 月末日。

5. 2015 年度予算案

収入

項目	金額	備考
会費	60,000	(正会員 30 名分)
寄付	0	
大会参加費	0	
前年度繰越金	105,220	
計	165,220	

支出

項目	金額	備考
大会運営費	5,000	
広告費	20,000	(ポスター作成、ドメイン・レンタルサーバ経費)
郵送費	25,000	
人件費	30,000	(アルバイト代)
消耗品費	5,000	
印刷費	3,000	
予備費	77,220	(査読料等)
計	165,220	

6. 役員等選出規則の改正

- ・第 8 条の修正案 (別紙)

役員等選出規則

第1条 本規則は、日本実験言語学会（以下、学会）定款第15条に基づく、本学会の役員等選出にかかわる諸規則を定めたものである。

第2条 会長および副会長は、理事会の互選により選出され、総会の承認を得た者とする。

第3条 理事は、会員の互選によって選出され、総会の承認を得た者とする。選出の方法は以下のとおりである。

2 会長は副会長と合議の上、理事候補者を理事会に提案する。理事候補者は正会員の直接投票による信任投票を受けなければならない。投票総数の半数以上の信任をもって選出される。

3 理事候補者を信任しない場合、候補者の半数未満の人数に限り、会員の中より自由記述することができる。

4 理事候補者が不信任となった場合、自由記述の最高得票者を選出する。

第4条 事務局長は、会員の中から会長の推薦を受け、理事会の承認を得た者とする。事務局長は、在任期間中は理事となる。

第5条 会計は、理事の中より会長が委嘱し、理事会の承認を得た者とする。

第6条 監事は、理事以外の会員の中より会長が委嘱し、総会の承認を得た者とする。

第7条 各種(編集、広報)委員会の委員長は、理事会の推薦を受け、総会の承認を得た者とする。

2 各種委員会の委員は、委員長の推薦を受け、理事会の承認を得た者とする。

第8条 選挙管理委員は、理事候補者以外の会員の中より会長が2名委嘱し、理事会の承認を得た者とする。

2 選挙管理委員会の委員長は選挙管理委員の中より会長が指名する。

附則

本規則は、平成27年8月8日より施行する。

編集後記

『実験音声学・言語学研究』第8号をお届け致します。今号には、論文1編が寄稿されています。

河西和美氏による論文では、ライブコンサートのMCで用いられるプロソディーについて考察しています。膨大なライブ資料の分析をもとにして、そこに現れる特徴を「あおり音調」と名付けています。その中に含まれるのは音調だけではなく、発話速度やポーズ、マイクロフォンの使用の有無に至るまで、ライブにおいてパフォーマーが用いる様々な音声の技巧が含まれ得ます。まさに「音声学的文体論」にふさわしい論考です。ぜひご高覧下さい。

(T. S.)

実験音声学・言語学研究 (Research in Experimental Phonetics and Linguistics) 第8号

発行者：日本実験言語学会

305-8571 つくば市天王台1-1-1 筑波大学文芸・言語専攻内池田潤研究室気付

電話・ファクス 029-853-4410 jelsoffice@gmail.com

<http://www.jels.info/index.html>

編集委員：島田武（編集委員長）、乾 秀行、菅井康祐、宇都木 昭

2016年3月24日刊行

ISSN 1883-6763